



広報かみかわ

5

2023 No.210

人の動き

- 2023年3月31日現在（外国人含む）
人口 10,559 男 5,022 女 5,537 先月比（男 7 女 33）
- 3月中の異動（人） 転入 47 転出 80 出生 1 死亡 8



写真：4月11日、町内の幼稚園で入園式が行われました。
神崎幼稚園には36名が仲間入りしました！

- P 2 **特集1 栗賀小学校跡地整備**
- P 4 **特集2 令和5年度予算**
- P 8 HPがリニューアルしました
- P12 JR補助制度を創設
- P16 職員の人事異動

- P25 お役立ち情報
- P26 まちの話題
- P28 すこやか情報
- P30 公民館へ行こう
- P32 暮らしの情報



栗賀小学校跡地公園・ 図書コミュニティ施設実施設計が まとまりました!

▲鳥瞰図
※画像はイメージです。実際の整備
内容とは異なる場合があります。

問 ひと・まち・みらい課 ☎ 34-0002

栗賀小学校跡地への整備を進めている、公園・図書コミュニティ施設の実実施設計がまとまり、いよいよ令和5年度は工事に着手する予定です。設計については、意見募集や関係団体・子育て世代へのヒアリング、検討会によるワークショップなどで町民の皆さまや、町議会や有識者の皆さまからも意見をいただきながら進めてきました。地域を担う人々が拠り所とし、日常的に集う「まちのリビング」のように、新しいつながりを創ったり、まちの魅力発信をしたり、誰もが思い思いに過ごし、世代を超えて笑顔があふれる、この場所ならではの公園をめざします。

整備スケジュール

令和5年度に入札手続き・工事着手し、令和5・6年度の2か年をかけて整備、令和7年度中のオープンを目指します。※現時点での予定であり、今後変更となる場合があります。



▲外観(敷地南西より全景を望む)



▲外観(敷地北西より全景を望む)



▲閲覧室(児童・子育て)、カフェコーナー



▲閲覧室(一般)

施設イメージをご紹介します

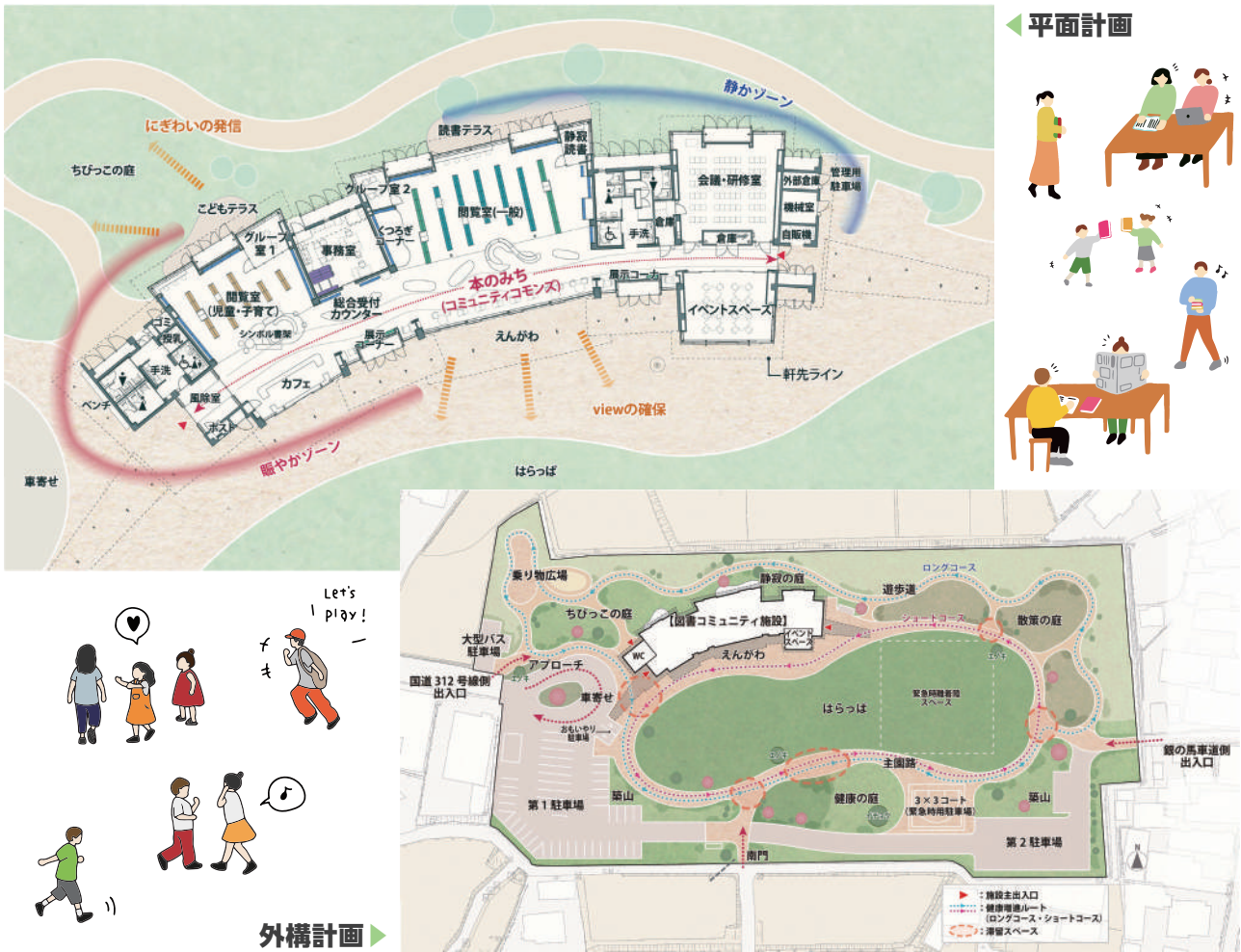
(※画像はイメージです。実際の整備内容とは異なる場合があります。)

公園・図書コミュニティ施設の概要

敷地面積：18,860㎡
主要構造：混構造(鉄筋コンクリート造
一部 鉄骨造および鉄骨鉄筋コンクリート造)
階数：地上1階
建築面積：1040㎡
延床面積：841㎡
駐車台数：80台(思いやり駐車場2台を含む)
バイク駐車台数：5台
駐輪台数：20台
蔵書数：約25,000冊



外構計画・平面計画をご紹介します（※町HPでは、実施設計説明書をご紹介しますのでご覧ください。）



設計にあたり意見募集・ヒアリング・ワークショップを実施しました！ご協力ありがとうございました！

■意見募集・ヒアリング

整備する施設が町民にとってより魅力的で利用しやすく、愛着が持てる施設となるよう町民の皆さまからの約2か月かけて意見募集や関係者へのヒアリングを実施しました。485件のご意見（ヒアリング・子育て世代ワークショップは除く件数）をいただきました。

- ・一般意見募集 7月 8日～29日
- ・神河中学校意見募集 7月11日～20日
- ・神崎高校意見募集 7月11日～20日
- ・子育て世代ワークショップ 8月19日
- ・図書関係者ヒアリング 8月19日
- ・関係者ヒアリング（公立神崎総合病院、ケアステーションかんざき、幼稚園、小学校） 9月8日



■検討会ワークショップ

平成28年度から跡地活用の検討を行ってきた検討会（地域住民代表者などにより構成）によるワークショップを8月と9月の2回開催しました。企画・進行には、全国でまちづくりに携わるコミュニティデザイナーの内海慎一氏（LIFEWORk）をお迎えしました。



多くの貴重なご意見、ご協力ありがとうございました。

!!
令和5年度予算が
決まりました

神河町全体の予算は

172億4,589万円

問 総務課 ☎34-0001

令和5年度の神河町の予算が決まりました。14会計を合わせた予算の総額は対前年度比4.5%増の172億4,589万円で、このうち一般会計は対前年度比7.3%増の90億8,400万円となりました。

令和5年度の予算は、2050神河将来ビジョンの実現に向け、「継続さらに発展」をキーワードに、①安心・安全がさらに広がるネットワークづくり、②住んでよかったと思えるまちづくり、③未来に希望が持てるまちづくりを柱に、地域・住民の皆さまと一緒に神河町の元気づくりに取り組んでいくための予算を編成しました。

これまで実施してきました安心安全・教育・子育て・若者定住など住民の皆さまの生活に必要な行政サービスの経費を確実に予算計上するとともに、公園・図書コミュニティ施設の建設のほか、喫緊の課題となるJR赤字ローカル線の維持、山林、農地の再生の推進を中心に、持続的発展を図るための施策の経費を新たに計上しました。

また、区からの要望事業には、引続き予算を計上しています。



▲きらきら館 つくり隊! あそび隊!



▲JR播但線利用促進補助金



▲農業再生推進事業 防草シート



神河町の予算の概要

町の予算は一般会計・特別会計・企業会計の3つから構成されています。このうち、町民の皆さまの生活全般にわたる施策を行うために使われる予算が一般会計です。これに対し、特定の事業を一般事業と切り離し、独立した経理を行うのが特別会計で10事業あります。企業会計は地方公営企業法の適用を受けるもので、水道・下水道事業と病院事業の3事業があります。ここでは、一般会計予算を中心に令和5年度予算の概要をお知らせします。

令和5年度予算額

総 額	172億4,589万円
一 般 会 計	90億8,400万円
特 別 会 計	35億 875万円
企 業 会 計	46億5,314万円

一般会計、特別会計および企業会計の当初予算額

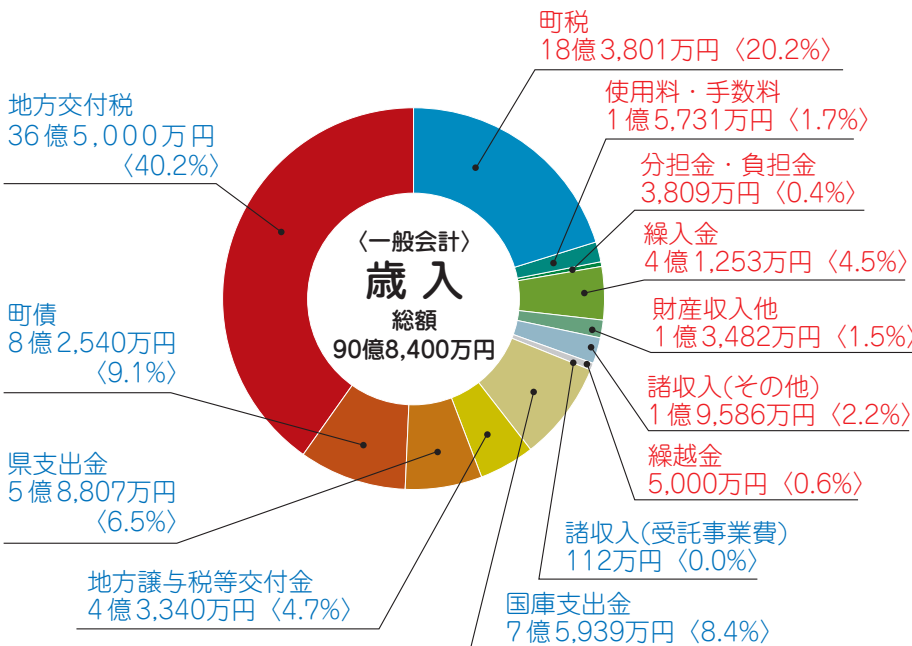
会 計 名	予 算 額	伸 び 率
一 般 会 計	90億8,400万円	7.3%
特 別 会 計	介護療育支援事業	6,417万円 10.5%
	国民健康保険事業	13億8,625万円 1.5%
	後期高齢者医療事業	2億 631万円 4.1%
	介護保険事業	14億8,855万円 △ 1.4%
	土地開発事業	8,764万円 △ 1.7%
	訪問看護事業	1億5,682万円 8.8%
	産業廃棄物処理事業	5,251万円 △ 19.6%
	寺前地区振興基金	251万円 △ 14.0%
	長谷地区振興基金	238万円 △ 3.4%
	浄化槽事業	6,161万円 12.0%
企 業 会 計	水 道 事 業	4億2,114万円 1.7%
	下 水 道 事 業	6億1,343万円 △ 2.1%
	公立神崎総合病院事業	36億1,857万円 3.1%
合 計	172億4,589万円	4.5%

※企業会計の予算額は3条支出予定額です(△はマイナス表示)。

1 一般会計 歳入

町が自ら徴収したり収納する自主財源は、28億2,662万円で、歳入全体の31.1%を占めています。このうち皆さまから納めていただく町税は対前年度比3.4%増の18億3,801万円となっています。個人法人町民税は減収見込みであるものの固定資産税は増収見込みであり、町税全体では増収見込みとなっています。

一方、国や県から受ける補助金や交付金は依存財源として68.9%を占め、62億5,738万円となっています。このうち標準的なサービスができるように国から交付される普通交付税は31億5,000万円、特別交付税と合わせた地方交付税総額は36億5,000万円となっています。国や県からの補助金や負担金は対前年度比4.7%減の13億4,746万円、そして町が建設事業や臨時財政対策などに充てるための借



赤字：自主財源 28億2,662万円(31.1%) 青字：依存財源 62億5,738万円(68.9%)

入金である町債は対前年度比42.0%増の8億2,540万円で、そのうち臨時財政対策債は5,000万円となっています。本年度は、財源不足を賄ったため財政調整基金を対前年度比6,700万円増額し、1億9,500万円取り崩しています。

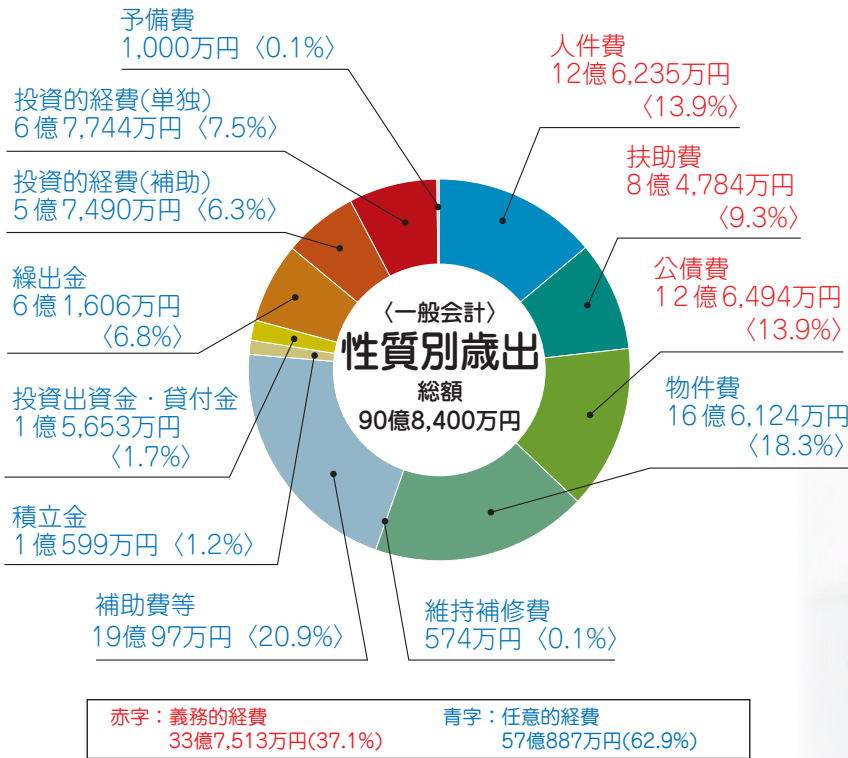


歳出

まず、減らすことが難しいとされる義務的経費（人件費・扶助費・公債費）は33億7,513万円で、歳出全体の37.1%を占めています。人件費は前年度比2.7%増の12億6,235万円で、扶助費は前年度比2.5%減の8億4,784万円。これまでの事業で借り入れた元金と利子を支払う公債費は、対前年度比8.5%増の12億6,494万円となっており、合併特例債、過疎債などの償還金が徐々に増えています。

それ以外の経費では、物件費として行政全般に係る電算システム関連経費（システム更新、セキュリティ対策）、各施設の維持管理に要する経費や事務事業全般にわたる諸経費など対前年比4.4%減の16億6,124万円。補助費などは公営企業（水道・下水道・病院）や部事務組合への負担金などで対前年度比2.3%増の19億9,700万円。出資金として、病院事業会計、下水道事業会計へ1億4,933万円を計上しています。繰出金は各特別会計の事業運営経費として対前年

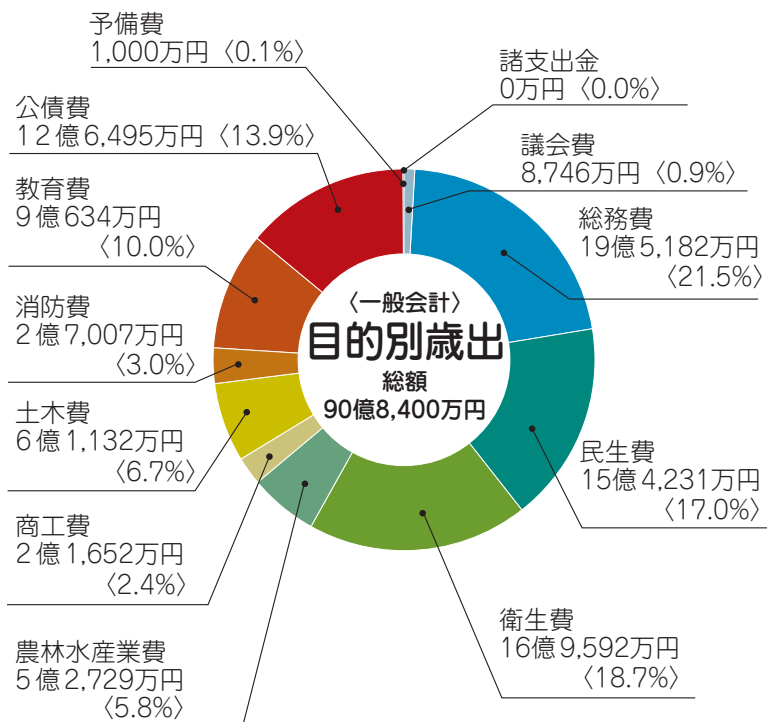
度比14.6%増の6億1,606万円を計上しています。投資的経費は、粟賀小学校跡地整備事業、河川改修事業の増額などにより、対前年度比56.5%増の12億5,234万円となりました。



一般会計における
 町民1人当たりの予算額は…
853,439円となっています。

(令和5年1月31日現在の人口10,644人)単位:円

目的別	性質別
議会費 8,217	人件費 118,597
総務費 183,372	物件費 156,073
民生費 144,900	維持補修費 539
衛生費 159,332	扶助費 79,654
農林水産業費 49,539	補助費等 178,595
商工費 20,342	公債費 118,841
土木費 57,433	積立金 9,958
消防費 25,373	投資・出資・貸付金 14,706
教育費 85,150	繰出金 57,879
公債費 118,841	投資的経費 117,657
その他 940	予備費 940
計 853,439	計 853,439



2 特別会計

各事業とも収支の均衡と業務運営の合理化・効率化を図り予算編成を行いました。

3 企業会計

各事業とも経営戦略を基本に経営健全化計画を着実に実行し、経営の健全化に取り組めます。

厳しい財政状況

経常収支比率

R5当初見込み 92・0%
R4当初見込み 96・9%

昨年度当初と比較してみると、歳出経常一般財源は過疎債などの元利償還金の増により公債費などが増額となつていますが、補助費などは減額となつています。歳入経常一般財源は地方税・普通交付税が増加見込みであるため、結果として比率は92・0%となり、4・9ポイントの改善となつています。

今後、町税をはじめとした経常収入は、人口減少などに伴い減収していくものと推測されるため、事務事業の見

直しなどにより、歳出における経常経費の削減を行い、更なる比率の改善に取り組んでいく必要があります。

【経常収支比率とは】

町税や地方交付税などのお金（経常収入）のうち、人件費・扶助費・公債費などのように必ず支出しなければならない経費（経常経費）が、どれくらいの割合かを示す指標で財政の弾力性をあらわしています。この数値は低いほど臨時的・突発的な支出に対応することができ、高いほど財政に余裕がないと言えます。



令和5年度予算主な新規事業および拡充事業

1.

ハートが安らぐ
まちづくり

- 急性期医療ICT連携ネットワークサービス事業
- 出産・子育て応援給付金事業
- 脱炭素化施策展開事業
- 空き家実態調査事業
- 河川環境整備事業

- JR播但線利用促進事業（播但線利用の遠距離通勤・通学者などへの補助）
- 農業再生推進事業（防草シートなどへの補助）
- 林業再生推進事業（広葉樹林再生に向けての試験伐採、町花町木植栽再生）
- 商工業者事業継続支援事業
- 若者世帯住宅補助事業

2.

ハートが賑わう
まちづくり

3.

ハートが繋がる
まちづくり

- 栗賀小学校跡地整備事業
- 企業版ふるさと納税推進事業
- 男女共同社会推進事業
- 第2次神河町長期総合計画後期基本計画策定事業

2023 May
かみかわ
NEWS

1

神河町公式ホームページを リニューアルしました

問 総務課 ☎34-0001



▲パソコン

◀タブレット

▼スマートフォン



3月29日に、神河町公式ホームページを全面リニューアルしました。より見やすく、より使いやすく、誰もが必要な情報を入力できるように、デザインを一新し、新しい機能を追加しています。

スマートフォンでも見やすく

スマートフォンやタブレットなど、画面サイズに合わせて表示が最適化されるレスポンシブウェブデザインを採用。スマートフォンの利用が増える今、見やすく使いやすくします。

誰もが必要な情報を 入手できるように

日本語が得意でない人に向けAIが簡単な日本語に変換する「やさしい日本語」機能、ルビ振りや音声読み上げ機能を新たに導入。外国人や小中学生、視覚障がい者や知的障がい者にも情報を伝えることができます。

より使いやすく、より便利に

従来のキーワード検索に加え、各ページの番号で検索できるページID検索、ごみ分別検索などで検索機能を充実。添付ファイル送信機能の追加など、より便利になっています。

また、ふるさと納税、町長室、神河町議会、神河町教育委員会のデザインページを新設し、移住定住サポート・かみかわくらすページを刷新しました。

今後新しい機能を追加していきますので、ぜひ新しいホームページをご活用ください！



新機能と こだわりのデザイン 5つのポイント

1 伝えるウェブ

AIが簡単な日本語に変換する「やさしい日本語」、ルビ振り、音声読み上げ機能などの「伝えるウェブ」を導入。外国人や小中学生、障がい者にも情報を伝えることができます。

ふりがな やさしいにほんご 読み上げ

2 UDフォント

高齢者や障がい者、外国人など、誰もが読みやすいように工夫された書体「UD(ユニバーサルデザイン)フォント」を採用しています。

UD
FONT

3 ごみ分別検索

ごみの分別をキーワード、50音順、種類から簡単に検索できます。「燃えるごみ」「粗大ごみ」などの区分だけでなく、細かい出し方のポイントも確認できます。

4 添付ファイル送信

各種申請書や写真などの添付ファイルを、特定のお問合せフォームから送信可能に。役場を訪れることなく、夜間や休日などいつでも送信できます。

5 神河町の魅力が伝わるデザイン

山や川、自然豊かな神河町をイメージして、緑色と青色を基調とし、全体的に優しく親しみやすいデザインとしています。神河町の地形を表現したメニューに、トップページには町花・さくらや町木・もみじ、ススキや水車などを配置。最下部では地図上にマスコットキャラクターのカーミンと観光スポットを表現するなど、神河町の魅力が伝わるデザインのホームページとしています。

ハート型の
まち

ハートがふれあう住民自治のまち
大好き! 私たちの町 かみかわ



2023 May
かみかわ
NEWS
2

ニーゼロゴーゼロ

2050神河将来ビジョンを 策定しました

3月1日、2050神河将来ビジョン策定委員会から、「2050神河将来ビジョン」について、神河町長に対して答申を受けました。

2050年、約30年後の神河町の将来像を描く「2050神河将来ビジョン」は、10年間を計画期間とする「第2次神河町長期総合計画」よりもさらに先の2050年頃を視野に入れたまちづくりの将来像などについて検討し、町の新たなまちづくりの羅針盤となるものです。

「ずっと大好き みんな大好き 夢ふくらむ かみかわ」をイメージし、一人ひとりが町に愛着と誇りを持ち、理想とする未来を思い描き、それが実現できるよう、住民と行政が一体となって未来へのまちづくりに向けて活用し、取組を進めます。（各ご家庭へは、概要版を配布します。）



▲委員長 田端和彦（兵庫大学副学長）から答申を受ける山名町長

2023 May
かみかわ
NEWS
3

商品開発を応援します！ かみかわブランド開発支援事業

問 ひとまちみらい課 ☎ 34-0974

神河町の魅力を広くPRするため、「かみかわブランド」として様々な商品を作っていくこととする取組に対して支援を行います。ぜひご活用ください。

対象事業 町のイメージを向上させるような商品の開発、または既存商品の改良にかかる事業であって、令和6年3月31日までに商品化できるもの。

※商品の種別は問いません。（食品・菓子・酒類・飲食メニュー・グッズ・工芸品など）

応募資格 町内に住所または事業所を有する個人・法人・団体

募集期間 令和5年4月3日(月)～令和6年1月31日(水) ※ただし、予算に達し次第、締切ります

支援内容 (1)補助額

1事業者1商品につき8万円以内 ※ただし、予算の範囲内となります

町内の資源（食材等）を使用した場合は10万円以内（提供証明書が必要です）

(2)対象経費

試作材料費、試作加工費、機器購入費、パッケージやラベルのデザイン料、容器・包装などの作成費、PR経費、マーケティング費用など

(3)補助条件

常時販売窓口があり、継続的に販売できる商品（委託販売も可。イベントなどの一時的な販売のみは対象外。）で、以下のいずれかに該当すること

・商品名に「神河」「かみかわ」「KAMIKAWA」「カミカワ」のいずれかの文字を使用する

※「神河町産〇〇」ではなく、名称として神河を入れること。

・商品パッケージ・包装紙・メニューなどに「カーミン」のロゴマークを添付する

応募方法 まずはお問合せください。



▲開発商品例
上 神河米粉バウムクーヘン
下 HYOGO KAMIKAWA
峰山高原プリン



安心して暮らせる住まいづくりを ひょうご住まいの耐震化促進事業

問 住民生活課 ☎34-0963

南海トラフ地震や山崎断層地震の発生の切迫性が指摘されるなど、大地震がいつどこで発生してもおかしくない状況にあります。いつ起こるか分からない大きな地震に備え、住宅の耐震化を進めましょう。

「何を検討したらいいのか？」
簡易耐震診断を
実施した診断員が
お答えします。

「住まいの耐震化」を
検討してください！
診断の結果「危険」「やや危険」の場合は…

《耐震診断の結果》

評点	評点	評点
0.7 未満	0.7 以上 1.0 未満	1.0 以上
危険	やや 危険	安心

○対象は、昭和56年5月以前に着工した戸建て木造住宅です。
○無料で診断できます。
○共同住宅（長屋を含む）も対象となります。

町が診断員を派遣します。

まずは
住宅の簡易
耐震診断を！

住まいの耐震化工事に対して、補助金を出します！

「ひょうご住まいの耐震化促進事業では、一人でも多くの方に耐震化に取り組んでいただけるよう、さまざまなメニューを用意しています。

住まいを建て替えたい

住宅建替工事費補助

耐震改修工事ではなく、建替えによって安全性を確保する場合に補助します。

補助率：4 / 5
補助金額：100万円

住まいに住み続けたい

耐震改修
工事をしたい

高額な耐震
改修工事は困難

住宅耐震改修工事費補助

耐震改修工事により、地震に対する十分な安全性を確保する場合に補助します。

補助率：4 / 5
補助金額：130万円
(上限)

家全体を
しっかり
改修したい

部分的な
改修をしたい

命だけは
守りたい

屋根軽量化工事費補助

重い屋根（土葺き瓦屋など）から軽い屋根に軽量化する場合に補助します。

補助率：定額
補助金額：50万円

シェルター型工事補助

住宅が倒壊しても安全な空間を確保する耐震シェルターを設置する場合に補助します。

補助率：定額
補助金額：50万円

防災ベッド等設置助成

命を守る最低限の対策として防災ベッドを設置する場合に補助します。

補助率：定額
補助金額：10万円

※契約後の補助金申請はできませんので、ご注意ください。

JR利用に係る3つの補助制度を創設しました

問 ひと・まち・みらい課 ☎34-0002

令和4年4月にJR西日本の路線のうち、経営状況が厳しいローカル線の情報開示が行われました。兵庫県内では、山陰線（城崎温泉～浜坂、浜坂～鳥取）、加古川線（西脇市～谷川）、姫新線（播磨新宮～上月、上月～津山）、播但線（和田山～寺前）の4路線6区間がその対象となっています。

播但線は、通勤・通学、買い物など住民の暮らしに欠かせない路線で、特急はまかせも運行しており、但馬と播磨を結ぶ重要な役目を持っています。また、観光など交流人口の拡大や災害時における予備的交通網（リダンダンシー）を確保するためにも必要不可欠なものです。

これからも移手段の一つとしてJR播但線の維持・存続を図るため、新たにJR利用に係る3つの補助制度を創設しましたので、これまで以上にJR播但線の利用をお願いします。なお、申請書およびアンケートの様式は、町HPからもダウンロードできます。

特急はまかせ利用促進補助金

○補助対象者

- 1.個人（町内に住所を有する）
- 2.町民によって構成された4人以上の団体

○補助対象にならない場合

- 1.国、県または他の地方公共団体などから同趣旨の補助金などの交付を受けた、または受けようとしているとき
- 2.勤務先から旅費などの支給があるとき
- 3.寺前駅において乗車または降車をしないとき
- 4.補助対象者およびその同居家族に町税など（税外収入を含む）の滞納があるとき
- 5.その他、町長が不相当と認めるとき

○補助対象経費

特急はまかせの利用に関する普通乗車券および特急券（指定席料金含む）の購入に要した経費

○補助金の額

- 1.個人 補助対象経費に10分の3を乗じて得た額（10円未満切り捨て）
ただし、1人につき同一年度内6,000円を上限とする。
- 2.団体 補助対象経費に2分の1を乗じて得た額（10円未満切り捨て）
ただし、1団体につき同一年度内48,000円を上限とする。

※1回の乗車で、個人分と団体分を重複して申請することはできません。

○申請に必要な書類

- ・神河町特急はまかせ利用促進補助金交付申請書兼請求書（様式第1号）
- ・普通乗車券などの利用区間、補助対象経費の額を証する書類（購入済みの普通乗車券などの写しなど）
- ・会則もしくは規約またはこれらに準ずる定め …団体の場合
- ・補助金に関するアンケート

○申請書類提出時期

補助金の申請は1ヵ月ごとにまとめて、速やかに提出してください。（おおむね利用月の翌月末を目途に）

JR播但線利用促進補助金

○補助対象者

- 1.65歳未満かつ2人以上でJR播但線の新野駅、寺前駅、長谷駅のいずれかを発着地とし、同じ駅から往復で利用する方（町内に住所を有する。65歳以上の方と合わせ、2人以上となる場合を含む。）
- 2.65歳以上でJR播但線の新野駅、寺前駅、長谷駅のいずれかを発着地とし、同じ駅から往復で利用する方（町内に住所を有する）
- 3.その他町長が適当と認める方

○補助対象にならない場合

- 1.国、県または他の地方公共団体などから同趣旨の補助金などの交付を受け、または受けようとしているとき
- 2.勤務先から旅費などの支給があるとき



3. 定期乗車券の利用により乗車したとき
4. 補助対象者およびその同居家族に町税など(税外収入を含む)の滞納があるとき
5. その他、町長が不相当と認めるとき

○補助対象経費

播但線を含む普通乗車券などの購入に要した経費

○補助金の額

補助対象経費に2分の1を乗じて得た額(10円未満切り捨て)ただし、1人につき同一月内3,000円を上限とする。

○申請に必要な書類

- ・神河町JR播但線利用促進補助金交付申請書兼請求書(様式第1号)
- ・普通乗車券などの利用区間、補助対象経費の額を証する書類(購入済みの普通乗車券などの写しなど)
- ・補助金に関するアンケート

○申請書類提出時期

補助金の申請は1ヵ月ごとにまとめて、速やかに提出してください。
(おおむね利用月の翌月末を目途に)

遠距離通勤・通学等補助金

○補助対象者

1. JR播但線の新野駅・寺前駅・長谷駅の各駅を基点とし、片道50km以上の遠距離の勤務先へ通勤する方および遠距離の大学など※へ通学する方(町内に住所を有する)
2. JR播但線の利用者が少ない寺前駅から和田山駅間を利用して勤務先へ通勤する方および大学など※へ通学する方(町内に住所を有する)
※大学など:学校教育法(昭和22年3月29日法律第26号)に定める大学院、大学、高等専門学校、高等学校、専修学校および各種学校

○補助対象にならない場合

補助対象者およびその同居家族に町税など(税外収入を含む)の滞納があるとき

○補助対象経費

定期乗車券購入費用相当額の一部

○補助金の額

1月につき5,000円を上限とする(ただし1月当たりの定期乗車券購入費用が5,000円を下回る場合はその額)。

○申請に必要な書類

- ・神河町遠距離通勤・通学等補助金交付申請書兼請求書
- ・定期乗車券の利用区間、利用期間および購入金額を証する書類(購入済みの定期乗車券の写しなど)
- ・在職または在学証明書の写し(申請時点のもの)
- ・補助金に関するアンケート

○申請書類提出方法

補助金の申請は、定期の有効期限月の月末から1ヵ月前を基本に4月から9月分を9月末日までに、10月から3月分までを3月末日までに提出してください。



◆提出方法

1. ひと・まち・みらい課へ直接持参(神崎支庁舎では受付できません。)
2. 郵送 3. FAX 4. メール

◆提出先

ひと・まち・みらい課

〒679-3116 神河町寺前64番地 ☎34-0002 Fax 34-0691

Mail: hitomachimirai@town.kamikawa.hyogo.jp

令和5年度 消防初出式並びに入退団式が開催されました。

4月2日(日)午前9時から神崎小学校グラウンドにおいて、神河町消防初出式ならびに入退団式が開催されました。来賓多数のご臨席の中、精鋭の消防団員314名が出動し、終始節度ある行動により神河町消防団としての意気込みが示されました。

なお、栄えある表彰を受けられた方々は次のとおりです。(敬称略)

おめでとう
ございました

★日本消防協会長表彰

- ◎精績章〔1名〕
- 本 部 藤原 朋訓

★兵庫県知事表彰

- ◎永年勤続功労章〔3名〕
- 本 部 細岡 俊介
- 越知谷分団 林 雄大
- 東柏尾部 高橋 孝記

★兵庫県消防協会長表彰

- ◎功績章〔2名〕
- 杉 部 山西 康弘
- 栗刈部 前嶋 宏哉
- ◎精績章〔3名〕
- 本 部 石野 朋史
- 吉富部 桐月 文徳
- 宮野部 立岩 伸啓
- ◎勤続章〔6名〕
- 越知谷分団 足立 裕樹
- 越知谷分団 一宮 雄大
- 越知谷分団 小林 哲也
- 貝野加納部 多田 真也
- 大 山 部 井上 昇三
- 新野部 生田 良

◎精勤章〔6名〕

- 越知谷分団 藤本 勝美
- 山 田 部 秋山 大紀
- 中 村 部 保西 利彦

★神河町長表彰

- ◎永年勤続功労章〔14名〕
- 栗賀町部 安部 昭憲
- 比延部 竹澤 克裕
- 南小田部 日和 一昭
- 根宇野部 藤原 一弘
- 栗賀町部 松原 秀樹
- 福本部 宮永 英樹
- 福本部 宮永 涼
- 猪篠部 長井 大蔵
- 新野部 安井 剛
- 新野部 岩澤 修一
- 上岩部 橋本 昌明
- 宮野部 立岩 孝之
- 宮野部 立岩 英則
- 宮野部 加門 英樹
- 南小田部 久後 龍馬
- 上小田部 高橋 幸三
- 川上部 藤原 敬悟
- ◎無火災の区〔2区〕
- 福本区
- 鍛冶区

ありがとうございます
ございました

定年退団される方々に
感謝状が贈られました

★定年退団者〔28名〕

- 越知谷分団 足立 裕樹
- 越知谷分団 小林 卓弥
- 越知谷分団 笹倉 秀之

はじめまして

新入団員を紹介しします

★入団者〔12名〕

- 中 村 部 中野 桂汰
- 中 村 部 齊藤 直城

- 越知谷分団 林田 隆志
- 根宇野部 中嶋 英伸
- 中 村 部 中野 秀史
- 中 村 部 藤尾 充
- 栗賀町部 堀口 泰宏
- 栗賀町部 松原 秀樹
- 貝野加納部 多田 真也
- 寺野部 岡本 亮
- 寺野部 宮脇 洋一
- 東柏尾部 松本 英樹
- 吉富部 桐月 久和
- 吉富部 桐月 文徳
- 吉富部 宮本 真輔
- 杉 部 藤原 正博
- 大 山 部 澤田 崇弘
- 猪篠部 酒井 一成
- 寺前部 高附 宗平
- 高朝田部 藤原 修造
- 上小田部 倉橋 大輔
- 上小田部 高橋 幸三
- 大 河 部 西川 直紀
- 川上部 草壁 清二
- 長谷部 高内 和哉
- 長谷部 田中 秀樹
- 長谷部 長井 平



- 栗賀町部 稲垣 雄大
- 栗賀町部 稲川 雅紀
- 栗賀町部 堀口 麗温
- 福本部 松田 一輝
- 猪篠部 長井 恵太
- 猪篠部 中 山 直人
- 比延部 古川 陽一
- 比延部 古川 道雄
- 寺前部 藤原 伊吹
- 栗刈部 藤原 伊吹



本 団

今年度の役員の方をご紹介します



団 長 笹倉 武志



副団長 足立 和也
(越知谷分団)



副団長 石野 朋史
(粟賀北分団)



副団長 谷岡 徹郎
(粟賀南分団)



副団長 細岡 俊介
(大山分団)



副団長 杉田 俊行
(寺前分団)



副団長 禰占 匠
(小田原分団)



副団長 藤原 朋訓
(長谷分団)

分団名	分団長	部 名	副分団長
越知谷分団	藤本 勝美		竹國 圭介
粟賀北分団	岸田 智也 (所属:根宇野部)	根宇野部	上田 英嗣
		山 田 部	前田 裕樹
		中 村 部	足立 翔希
		粟賀町部	早川 浩司
粟賀南分団	平井 智也 (所属:貝野加納部)	福 本 部	谷 総 智哉
		貝野加納部	高橋 諒
		寺 野 部	石田 好史
		柏 尾 部	藤原 昭一
		東柏尾部	中野 勝啓
大 山 分 団	松田 良平 (所属:猪篠部)	吉 富 部	藤和 寛史
		杉 部	中本 優作
		大 山 部	森角 俊介
		猪 篠 部	西畑 博明

分団名	分団長	部 名	副分団長
寺 前 分 団	山下 勝也 (所属:寺前部)	新 野 部	藤田 透
		野 村 部	林田 智永
		比 延 部	竹澤 克裕
		寺 前 部	田中 博士
		鍛 治 部	田中 仁貫
小田原分団	浜野 建介 (所属:宮野部)	上 岩 部	中原 慎二
		高朝田部	藤原 大輔
		宮 野 部	立岩 孝之
		南小田部	三谷 洋平
		上小田部	高橋 宗平
長 谷 分 団	藤原 賢作 (所属:川上部)	大 河 部	吉岡 勇貴
		川 上 部	大津 常満
		長 谷 部	三木 大輔
		栗 湊 部	前嶋 宏哉

(敬称略)

新入団員・幹部訓練を実施しました



4月9日(日)に、神崎小学校グラウンドにおいて、毎年恒例の新入団員・幹部訓練を行いました。

当日は、姫路市中播消防署より9名の講師をお招きし、総員104名参加のもと、新入団員は基本的な礼式・規律訓練およびポンプ操作を含む機械器具の取扱訓練を実施し、幹部は礼式・規律訓練・消防操法訓練を行いました。

問 住民生活課

☎334-0963